

平成 18 年度運営幹事会 (第 3 回) 議事録	
開催日時	平成 18 年 12 月 6 日(水) 15:30 ~ 18:00
開催場所	石油資源開発(株) 麻布寮 2F 会議室
出席者	<p>委員長: 吉田恒夫(石油資源開発)</p> <p>今里昌幸(石油資源開発)、池田正市(帝国石油)、市川祐一郎(JDC)、澤村啓(JDC)、富岡正(帝国石油)、長縄成実(東京大学)、福嶋直哉(出光 O&G 開発)</p> <p>以上 運営幹事</p> <p>分科会座長: 古谷昭人(JDC)</p> <p>事務局: 筑井秀昌(石油資源開発) 以上 10 名</p>
議題 1	<p>平成 19 年度春季講演会シンポジウムテーマについて 添付資料 1, 2</p> <p>テーマは『作井における技術者の挑戦』に決定。このテーマ決定に関して、以下の意見があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマが漠然としているため、講演内容によってはパネルディスカッションのまとめ方が難しい。 ・今年のテーマ「新規技術と研究の現状」との差別化を図るため、Application に焦点を当てた講演を募るべき。 <p>「人的資源に関するテーマ」も、各社共通の懸案事項で有力な候補であったが、現時点では未だ各社とも実績がまとまっておらず、このテーマを採用するのは再来年度以降とする。</p>
議題 2	<p>各分科会活動報告</p> <p>大水深掘削技術分科会: 古谷座長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回会合: 平成 19 年 1 月中を予定。 <p>ホームページ分科会: 田崎座長(欠席)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HP 上の作井技術委員会の「行事・会議案内」を更新した。
議題 3	<p>過去の分科会および成果物のレビュー 添付資料 3, 4</p> <p>委員長から、次回幹事会時に JAPEX 座長の分科会を内容を含めて提案したいと報告された。分科会の素案は以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(過去の成果物の有用性を考慮して)是非印刷物を発行したい。 ・あまり基礎的な分野に留まらず、そこから一步ステップアップできるような若手エンジニアを対象とする教科書的な技術資料を志向。
議題 4	<p>10/24 第 4 回理事会報告</p> <p>石油技術協会賞候補者の推薦(締切日: 平成 19 年 2 月 13 日)</p> <p>平成 19 年度春季講演会の個人講演申し込み(締切日: 平成 19 年 2 月 9 日)</p> <p>石油技術協会誌の著作権の帰属について</p> <p>SPE Asia Pacific ATW (Applied Technology Workshop) の札幌開催について</p>

<p>議題 5</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 5</p> <p>「協会活動に関する WG」委員の選任 幹事会社の運営幹事・事務局担当を WG 委員とすることで承認された。 第 1 回会合に出席した筑井が議事の報告を行った。「協会予算剰余金の有効活用についての議論がメインであった。」ことに対し、以下の意見交換がなされた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般人・学生等を対象とした啓蒙活動に対して協会予算を利用するのは良いアイデアである。その場合には、各委員会単位で行うのではなく協会として行うべき。 ・学生のリクルーティングは各会社が行うべきもので、協会予算を利用するべきではない。 ・協会賞の拡張として、優秀な個人講演に賞を送ること等、一考に値する。 ・協会誌のカラーページ印刷費を協会予算でまかなうという案には賛同しかねる。自己負担のままとしたい。
<p>議題 6</p>	<p>その他、事務連絡 次回(第 4 回運営幹事会)は、来年 1 月下旬～2 月上旬に開催予定。</p>

- 添付資料 1: 平成 19 年度春季講演会作井部門シンポジウムテーマ候補
- 2: 過去の作井部門シンポジウムテーマ 一覧
 - 3: 昭和 60 年以降の作井技術委員会分科会
 - 4: 作井技術委員会成果物(技術資料)一覧
 - 5: 協会活動に関する WG(第 1 回会合)議事録